

## 特集

専門看護師をさらに育てる博士課程教育  
DNP の理念と実際

DNP へのニーズと Fact —米国における現状と展望 余善愛

イリノイ大学シカゴ校における DNP 養成

Director の立場から Dr.Susan L.Corbridge

学生の立場から 石田佳奈子

米国における DNP 養成の概要—米国の白書から見えること 新福洋子ほか

日本における DNP 養成の展望—教育方法とカリキュラムの検討 吉田千文ほか

日本における CNS の現状とこれからの課題 宇都宮明美

日本における DNP の展望 萱間真美

## 【特別記事】

医療現象学の構築に向けて 榊原哲也, 野口綾子

## 【新連載】

理論看護学を学ぶ—看護現象から知を生むために・1 坂下玲子

研究の現場から・1 河村洋子

## 編集後記

●本特集で河野哲也氏は、「対話」の場をつくる難しさを、「その人のアイデンティティをいったん引き剥がすことになるからだ」とし、「ひとりの『裸の』人間として相手と向き合い対話をするとき、人は自ずと哲学的になっていく」と述べています。「裸に」なるのが苦手な私には、非常に深く響く(刺さる)言葉です。対話の修行を積みねばと、心新たです。本特集は学際性に基づく対話でしたが、対話は、学際的なものだけではないですね。余善愛氏には日米の懸け橋として、英語論文執筆という「国際的な対話」について、多様な角度から連載していただきました。看護理工学の特別記事からも、その重要性がひしひしと感じられます。その意味でも、本号は全体が「対話」です。小誌は読者の方々のおかげで、来年で創刊 50 年。これを機に、これまでの焦点・特集テーマを掲載しました。ぜひご覧いただき、貴重な声をお聞かせください。その声に応え、より活発な対話ができるような誌面を創っていきたいと思います。(小長谷)

看護研究 第 49 巻 第 7 号(通巻 270 号) 2016 年 12 月 15 日発行(増刊号を含め年 7 回発行)

発行: 株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2016, Printed in Japan

販売部 (03) 3817-5659 社内案内 (03) 3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>『看護研究』編集室: (03) 3817-5775 電子メールアドレス [kanken@igaku-shoin.co.jp](mailto:kanken@igaku-shoin.co.jp) 担当/小長谷・早田

1 部定価 1,900 円+税

2016 年年間購読料(いずれも+税, 送料弊社負担, 増刊号を含む年 7 冊):

冊子版 12,060 円 冊子+電子版/個人 15,060 円 電子版/個人 12,060 円

〈学割年間購読料〉冊子版 9,720 円 冊子+電子版/個人 12,720 円 電子版/個人 9,720 円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。

## ●編集協力者(五十音順)

阿曾洋子/井上智子  
井部俊子/太田喜久子  
岡谷恵子/片田範子  
金井 Pak 雅子/上泉和子  
萱間真美/川口孝泰  
河口てる子/グレッグ美鈴  
黒田裕子/小松浩子  
坂下玲子/真田弘美  
筒井真優美/水流聡子  
西村ユミ/野嶋佐由美  
早川和生/舟島なをみ  
正木治恵/村嶋幸代  
森 恵美/安酸史子  
山田雅子/山本則子

## 看護研究バックナンバー

vol.  
49  
no.  
6  
Sep  
Oct

## ●特集 | よい論文とは? おもしろい論文とは?

【座談会】よい論文とは? おもしろい論文とは? 山本則子, 小松浩子, 秋元典子, グレグ美鈴  
 よい研究の基盤—実践における価値と背景にある知識を結びつける 大西麻未/よい論文は未来をデザインする 落合亮太/よい論文とは引用される論文である 掛田崇寛/定点から研究を続けることで見えてくる全体像—精神科訪問看護の研究から 萱間真美/関心をもつ現象に対して考える契機を与える論文 グレグ美鈴/課題を解く研究 坂下玲子/素朴な疑問への答えを探し続けること 心光世津子/「他者との対話」がよい論文, おもしろい論文を創る 辻村真由子/思わず, うなずかされる 西村ユミ/エビデンスをつくり, 人々の役に立つ研究をめざす 福井小紀子/何のための研究か, 誰のための研究か 松岡千代/研究成果の普及に力を入れる 宮下光令/臨床看護で活用できる研究へのこだわり 山勢博彰/「研究上の問い」に対する答えを見つめるためのチャレンジ 山本則子/論文のおもしろさ, よさはどこにあるのか?—社会を取り巻く現状と看護研究の課題 吉野八重/

## 〈特別記事〉

【研究対象者に対する研究倫理を考える③】研究対象者にとって倫理的であるということの判断基準 家島明彦

## 〈連載〉

英語論文を書くということ⑦ 論文を査読するために必要なこと 余 善愛

vol.  
49  
no.  
5  
Jul  
Aug

## ●特集 | 介入研究をどう進めるか

介入研究のこれまでとこれからの展望 西垣昌和  
 介入研究における研究計画立案のポイント 奥村泰之  
 介入研究の実施体制のマネジメント—計画立案時のロジスティクス構築の重要性 竹原健二  
 介入研究の道のり: 発案から臨床応用まで—背面開放座位とアロマセラピー研究の実績から 大久保暢子  
 看護のエビデンスを大規模研究から構築するために—AMEDの取り組みから 関根小乃枝

## 〈特別記事〉

【研究対象者に対する研究倫理を考える②】研究対象者に対する倫理的配慮の範囲と取り組むべき課題  
 河原智江, 西村ユミ, 久保恭子

## 〈研究報告〉

介護老人保健施設に勤務する看護師のアセスメント技術に関する研究 山田由紀

## 〈連載〉

英語論文を書くということ⑥ 論文を出版するまでの過程 余 善愛

vol.  
49  
no.  
4  
Suppl.

## ●特集 | 看護と哲学—共同がもたらす新たな知

看護と哲学—看護と現象学の相互関係についての一考察 榊原哲也  
 補い合うことと考えること—ある看護師へのインタビューの分析から 小林道太郎  
 言葉を使って痛みを他人に伝えることはできるか—痛みの表現における発話行為と比喩の使用についての考察 池田喬  
 哲学を学びながら臨床現場で働く 三浦智美  
 生きられたからだを描く—回復しつつある身体の実験から 坂井志織  
 慢性病者の経験の記述に関する一試論—“第二の人生”が主題となった語りを手がかりに 細野知子  
 まわりの人との関係の中で「できる」ということ—現象学が見せてくれるもの 村上優子  
 インタビュー分析の言語学的基盤, 個別者の学としての現象学 村上靖彦  
 「そうではなくて」という思考のスタイル—現象学と看護研究の関係を捉え直す 西村ユミ

## 〈特別記事〉

第19回 EAFONS in Chiba 開催報告 宮崎美砂子

## 〈連載〉

英語論文を書くということ⑤ 考察を書く 余 善愛

